

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

医療法人 社団 鳥巣病院増築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 201

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.7
Q1 室内環境			0.40			3.4
1 音環境		3.0	0.15	2.6	1.00	2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策			-		-	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 負荷変動・過渡制御性			-		-	
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
5 湿度・湿度制御			-		-	
6 調湿制御			-		-	
7 時間外空調に対する配慮			-		-	
8 監視システム			-		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.6	0.25	3.9	1.00	3.7
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	共用部: 2.7% 住居部: 8.73%	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	5.0	0.30	
1 照明器具のグレア			-		-	
2 昼光制御	ブラインド・庇による制御	4.0	1.00	5.0	1.00	
3 障り遮光対策			-		-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.7	0.25	5.0	1.00	4.7
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	仕上材は全てF☆☆☆☆以上を使用。	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策			-		-	
3 タバコ・カビ等			-		-	
4 レジオネラ対策			-		-	
4.2 換気		4.0	0.30	5.0	0.38	
1 換気量	共用部: 400/58.4=6.84≥1.4 床室: 150/27.8=5.39≥1.4	5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	排気口と給気口が異なる方位	3.0	0.50	5.0	0.33	
4 給気計画			-		-	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-		-	
2 喫煙の制御	全面禁煙となっている	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.4	0.40	4.4	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室13.38≥10㎡かつ多床室36/4=9㎡≥8㎡	3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	床室CH=2.5m	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-		-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		4.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い床材の使用、風除室の扉の距離が3m以上	5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	全般にコンセント設置、トラップの取外しが可能、清掃用具スパー	4.0	0.50		-	
3 衛生管理業務			-		-	
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-	3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	長尺塩ビシート20年	5.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	露出ダクトにガルバリウム鋼板使用	4.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	汚水・雑排水にB使用かつE不使用	5.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.8	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水型機器の採用・系統の分離	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	地下への設置なし・非常用発電機設置	5.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	光ケーブルの引き込み・地下への設置なし	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.9	0.29	2.7	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	2.4	0.50		
1 階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ		共用部壁長さ比率0.23	4.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	4.4
1 生物環境の保全と創出		外構緑化率36.4%、建物緑化8.6%	4.0	0.30	-	-	4.0	
2 まちなみ・景観への配慮		植栽による良好な景観の形成	5.0	0.40	-	-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		フェンス設置による防犯性の配慮・庇等による施設機能提供	4.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		排熱設備のほとんどを屋上に設置・屋上の緑化	4.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.9
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化		高効率設備の採用	3.8	0.30	-	-	3.8	
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=13.1%	3.0		-	-		
集合住宅の評価			3.0		-	-		
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1 節水		自動水栓・節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-	3.4	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-		
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		長尺ビニル床シート、再生骨材の路盤材利用	4.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.24	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22	-	-	4.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のプライマー	4.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-		
1 消火剤		ハロン・ハロゲン化物消火剤使用なし	4.0	0.33	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		ノンフロンの発泡剤を使用	5.0	0.33	-	-		
3 冷媒			3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率90%	3.3	0.33	-	-	3.3	
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4	
2.1 大気汚染防止		ガス給湯器にエコジョーズ採用	4.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-		
3 交通負荷抑制		隣接敷地に駐車場の確保。出入り口を2つ設置	4.0	0.33	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミ置き場の設置。	4.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1 騒音			3.0	1.00	-	-		
2 振動			-	-	-	-		
3 悪臭			-	-	-	-		
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-		
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		チェックリストの過半を満たす。広告塔照明無し	5.0	0.70	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		